

プロジェクト研究

「名古屋の観光を歴史・文化・

まちづくりから考える」報告

名古屋市立大学大学院人間文化研究科 吉田 一彦

人間文化研究所における名古屋の観光に関するプロジェクト研究は、人文社会学部のオムニバス講

義「名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光」の開講に歩調を合わせるように、二〇〇六年度から開始された。二〇〇六年度の研究テーマは「名古屋の環境・文化・まちづくりと観光に関する学際的研究」で、山田明教授を研究代表者に、講義担当者たちが共同研究の構成員となった。

それから二〇一三年度までの八年間、研究テーマの名称に少しずつの変更はあったが、プロジェクト研究は続けられ、二〇一三春秋に、研究成果として『名古屋の観光力』（山田明・吉田一彦編、風媒社）を刊行した。この書物は、オムニバス講義担当者の論説、講義録を中心に、大学院人間文化研究科修了生、在学院生、人文社会

学部学生によるコラムを加えてまとめたものであった。

二〇一四年三月、山田明教授の定年退職にともない、オムニバス講義の代表者を吉田一彦が引き継ぎ、人間文化研究所の共同研究プロジェクトも、吉田を研究代表者、成田徹男、阪井芳貴、土屋有里子を共同研究の構成員に再出発することとした。講義「名古屋と観光」の方は、山田明先生、須田寛先生（JRR東海相談役、非常勤講師）の退任にともない、次のような新しい構成で編成した。

プロローグ・名古屋の歴史一  
名古屋の歴史二  
名古屋のことば一  
同二  
名古屋と文学一  
同二

名古屋の芸能一 阪井芳貴  
同二 阪井芳貴

絵葉書に見る名古屋の観光 井上善博  
名古屋と文化財、名古屋城本丸御殿を事例として一 朝日美砂子  
同二 朝日美砂子  
名古屋の歴史的町並と 溝口正人  
まちづくり 三浦哲司  
名古屋の現状と課題  
名古屋における観光  
まちづくりの課題 林浩一郎  
総合討論 講義担当者

本年度は、これまで講義を担当してきた吉田、成田、阪井、井上に加えて、新たに着任した土屋、三浦、林の三先生に加わっていた。また、新たな観点から名古屋と観光について論じてもらった。また、歴史的町並みの専門家である本学芸術工学部の溝口正人教授と、本

丸御殿の障壁画の専門家である名古屋城総合事務所の朝日美砂子学芸員に加わっていただき、御専門の見地から名古屋と観光について論じていただいた。この講義は、本年度も授業公開の科目とし、市民の方々に聴講していただいているが、大変好評であり、市民の方々と有益な意見交換をすることができた。最終回の総合討論を楽しみにしている。

プロジェクト研究の研究会は、一二月五日に構成員四人に加え、講義担当者全員が参集して開催された。それぞれの専門の立場から名古屋の観光をめぐる諸問題や講義の課題について見解が提示され、議論を深めることができた。本丸御殿の活用や歴史的町並の保全・活用などの諸課題について多くの知見を得ることができた。

また、吉田は、山田明教授の勉強会を引き継いで、「名古屋市で観光を考える勉強会」を四月一二日、六月二八日、八月三日の三回開催し、名古屋駅周辺の史跡関係の道を踏査し、長久手市の「おんぱく」に参加した。